

事項	平成15年産水稻の障害不稔発生程度と玄米品質からみた刈取適期		
ねらい	<p>水稻の障害不稔が発生した場合の適期刈取り判定の資料については、昭和55年冷害の「アキヒカリ」の調査事例を昭和56年度の指導参考資料(D項)として提出してきた。</p> <p>今回、平成15年度の障害型冷害において「ゆめあかり」、「むつほまれ」を用いて、不稔発生程度と玄米品質からみた刈取適期について調査したので、参考に供する。</p>		
指導 参考 考 内 容	<p>1 「ゆめあかり」の刈取適期  <math>m^2</math>当たり籾数が24,000～26,000粒程度、登熟気温（出穂後40日間の平均気温）が18.5～19.0℃の場合の玄米品質（「青未熟粒」、「茶米」、「検査等級」）からみた刈取適期は以下のとおりである。</p> <p>(1) 不稔歩合15～25%の場合：出穂後積算気温で概ね900℃～1000℃  (2) 不稔歩合55～65%の場合：出穂後積算気温で概ね850℃～950℃</p> <p>2 「むつほまれ」の刈取適期  <math>m^2</math>当たり籾数が26,000～29,000粒程度、登熟気温（出穂後40日間の平均気温）が18.5～19.0℃の場合の玄米品質（「青未熟粒」、「茶米」、「検査等級」）からみた刈取適期は以下のとおりである。</p> <p>(1) 不稔歩合25～35%の場合：出穂後積算気温で概ね850℃～950℃  (2) 不稔歩合55～65%の場合：出穂後積算気温で概ね800℃～900℃</p>		
期待される効果	障害不稔が発生した場合の刈取適期が推定できる。		
利用上の注意事項	<p>1 <math>m^2</math>当たり籾数が2.5～3.0万粒、登熟気温が18.5～19.0℃の場合の調査結果である。</p> <p>2 玄米品質は、品質判定機「RS-1000」を用いた結果である。</p>		
担当	青森県農林総合研究センター 藤坂稲作研究部	対象地域	県下全域
発表文献等	平成15年度 青森県農林総合研究センター試験成績概要集		

【根拠となった主要な試験結果】

表1 不稔の発生程度と刈取時期別の玄米品質ならびに検査等級

(平成15年 青森農林総研藤坂)

品種	不稔歩合 (%)	出穂後 日数 (日)	出穂後積 算気温 (°C)	玄米品質 (1.9mm以上、重量%)				検査等級	落等要因
				活青粒	青未熟粒	茶米	その他		
ゆめあかり	15~25	38	709	17.2	23.7	0.1	59.1	3下	充実不足
		42	775	19.5	22.3	0.5	57.8	2下	充実不足
		46	835	14.6	17.8	1.4	66.3	3下	充実不足
		50	882	10.1	5.6	1.0	83.3	3上	充実不足
		54	926	9.5	3.4	4.8	82.2	2下	充実不足
		60	988	6.4	3.5	4.3	85.9	2中	充実不足
		71	1120	0	0.6	13.3	86.1	3中	充実不足
	55~65	37	713	36.6	21.6	0.4	41.3	3下	整粒不足
		40	754	21.6	10.4	0.7	67.3	3下	充実不足
		46	847	3.2	2.8	2.3	91.7	3上	充実不足
		50	907	2.0	2.7	4.4	90.9	2下	充実不足
		54	954	0.8	0	3.7	95.5	3中	充実不足
		58	997	0	0.6	10.8	88.7	3中	充実不足
		64	1060	0	0	13.3	86.7	3上	充実不足
むつほまれ	25~35	38	709	26.0	34.2	0.6	39.2	規格外	—
		42	775	20.2	31.0	1.1	47.7	規格外	—
		46	835	4.6	1.0	16.4	78.0	3下	茶米粒
		50	882	13.0	7.2	2.9	76.9	3下	青未熟粒
		54	926	3.5	6.9	13.3	76.4	3中	充実不足
		60	988	5.8	7.6	11.2	75.3	3上	充実不足
		65	1053	0	3.9	27.9	68.1	3上	充実不足
	55~65	37	713	33.3	46.3	0.7	19.8	規格外	—
		42	781	17.4	18.9	3.1	60.7	3中	充実不足
		46	847	12.9	8.8	4.6	73.7	3下	充実不足
		50	907	11.9	12.0	9.3	66.8	3下	茶米粒
		54	954	0.9	1.9	18.3	79.0	3下	充実不足
		58	997	0	1.7	32.1	66.2	3下	充実不足
		64	1060	0	2.2	33.7	64.1	規格外	—

- (注) 1 玄米品質は、品質判定機「RS-1000」を使用  
 2 刈取適期の幅は、青未熟粒歩合、茶米粒歩合、検査等級の推移を考慮して、総合的に判断した  
 3 出穂後積算気温はアメダス(十和田)使用、起算日は出穂期とした  
 4 「茶米」には光沢不良粒や着色粒を含む。また、「その他」とは「整粒」を含めた、「活青粒」「青未熟粒」「茶米」を除いた全ての粒  
 5 供試品種のm<sup>2</sup>当たり粒数は「ゆめあかり」が2.4~2.6万粒程度、「むつほまれ」が2.6~2.9万粒程度である